

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	令和5年度 第1回 姫路市総合教育会議
2 開催日時	令和5年8月10日(木) 13時30分～14時45分
3 開催場所	姫路市役所北別館 5階 教育委員会会議室
4 出席者又は欠席者名	<p>〔構成員〕</p> <p>清元市長、西田教育長、角谷教育長職務代理者、山下教育委員、森下教育委員、 中野教育委員</p> <p>〔関係者〕</p> <p>横田政策局高等教育担当理事、平田教育次長</p> <p>〔事務局〕</p> <p>高等教育室 : 高橋室長、中田主幹、篠原課長補佐、下川主任</p> <p>教育委員会事務局 : 村田教育総務部長、平山学校教育部長、中上総務課長、内海健康教育課長、 島田総務課係長、田淵健康教育課係長</p>
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴人 3名
6 議題又は案件及び結論等	教員の働き方改革の実現と中学校部活動の地域移行について
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

委員	平日と休日の部活動の連携をどうするか未定の状態で、休日のみ地域移行すると、生徒が混乱するのではないか。まずは、1校単独で活動を継続できるものと複数校合同で活動するものに仕分けし、その活動に担当教員を配置できない場合に、平日も含めて地域移行すればよいのではないかと。
事務局	働き方改革の観点からも、休日の部活動の地域移行を考えている。休日の部活動の受け皿を用意できれば、平日の部活動もスムーズに移行でき、学校から部活動が切り離されていく見通しである。
市長	学校内で生徒が自主的に部活動を行う際、教員の立ち合いは必要か。
事務局	安全管理上、教員の立ち合いは必要である。
市長	部活動の指導は、教育課程に組み込まれていないことを踏まえ、教員の働き方改革を推進するため、地域移行後は指導者に謝礼を支払い、平日も指導してもらうことを目指しているのか。
事務局	そのとおりである。そのために、指導者を探しているところである。
委員	クラス担任を持たない教員であれば、部活動の指導がある日はシフト制にして、昼から出勤すれば、超過勤務は発生しないのではないかと。
市長	部活動の指導は教育課程外であるため、仕事としてシフトを組むことはできない。また、スポーツ等の指導に限れば、スクールなどのコーチの方が指導能力に長けていると思うが、ヤングケアラーの発見など、生徒を見守っていくという観点からは、部活動に教員が携わることは重要であると思う。
教育長	国の学習指導要領では、部活動は生徒・教員の望ましい人間関係を構築する等、その教育的意義が高いことを指摘し、教育課程外の学校教育活動として明記されている。次回以降の要領改定時に、部活動の記述がなくなれば、部活動を学校から切り離すことになるだろう。
委員	部活動が完全に学校から切り離されたら、文化・芸術系の部活動が消えてしまうのではないかと。
教育長	国も地域移行の実践研究を行う中で、「地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す」と柔軟な考え方に変わってきている。そのため、学習指導要領から部活動の記述が全く消されてしまうことはないのではないかと考えている。
市長	教員によっては、部活動の指導者になりたい人もいる。また、指導者の有無で、生徒にとって大きな格差が出てくるのはいかがなものか。
委員	教育格差があるため、各家庭での習い事とするのは難しいだろう。しかしながら、指導者を地域で確保するのは、質・量の面で本当に難しいと思う。たとえ、指導者が見つかったとしても、集団指導の経験がない方もおり、最初は、現場研修等も必要になってくると思う。
市長	課外活動指導員を配置するのであれば、指導者にふさわしい人物であるかなど、

	<p>質の確保も大切である。</p>
委員	<p>地域クラブが中学校体育連盟主催の全国大会へ出場可能となったとあるが、具体的にどのような競技でどのように参加するのか。</p>
事務局	<p>全国大会へ出場するためには、まず、令和4年度末までに、県に中播大会への出場申請をし、承認を得た地域クラブのみが出場できることとなっている。勝ち進めば全国大会に出場できる。すべての競技が対象である。</p>
委員	<p>地域クラブにはトップクラスの生徒が集まると考えられる。スポーツ庁は、日本代表クラスの生徒を育成するために地域クラブの全国大会への出場を可能としたのか。</p>
事務局	<p>体操を例にとると、本市の中学校 35 校のうち1校にしか部活動がない。ただ、地域の体操クラブで活動している生徒は市内に何名かいるので、地域の体操クラブとして県に出場申請し、承認されれば大会に出場できる。</p>
委員	<p>1校では生徒が集まらず出場困難なので、地域クラブが出場できるようにしたということか。</p>
事務局	<p>地域クラブが出場できるようになった際に、勝利至上主義になってしまう懸念はある。ただ、地域クラブの大会への参加は、あくまで生徒が大会に参加できる機会を確保するために門戸が開かれたものである。</p>
委員	<p>学校内での部活動は、身近な大人である教員に、生徒の才能等を見つけてもらえるよい機会である。学校の活動として、どのように質を保つのか。また、地域移行できたとして、規模の小さなクラブは活動しやすいが、規模の大きなクラブでは、生徒たちのみの活動時間ができてしまい、いじめなどの発見が遅れてしまう恐れがある。研修等を活用し、充実した活動となるよう考えていただきたい。</p>
市長	<p>周辺地域の生徒たちは、部活動の選択肢が少ないので、活動が困難な学校同士で合同部活動を実施してはどうか。例えば、スポーツ経験者のスクールヘルパー等に別途謝礼を支払い、指導員になってもらえないだろうか。また、部活動の統廃合については、事前に広報しておく必要があるだろう。</p>
委員	<p>文化・芸術系の部活動は、地域クラブの受け皿がなく、廃部になってしまう恐れがある。</p>
市長	<p>現在は、リモートで各校をつなぐこともできるので、複数校統合型の部活動として残っていく可能性はあると思う。</p>
委員	<p>部活動の指導も含めて教員になった方もいると思う。教員が部活動指導員に応募して指導を継続することは可能か。</p>
事務局	<p>現在は問題ないが、将来的に地域移行すれば、兼業規定に抵触するため、地域クラブに在籍していただく必要が生じる。</p>
市長	<p>色々ご意見をいただいたが、これは、さまざまな視点から考えないといけない問題であり、課題を整理し、引き続き検討していく必要がある。</p>